

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

1. 本講義は土曜日に講義を実施する。

《担当者名》○大原 裕介（客員） 荻原 唯（客員） 向谷地 生良

【概要】

本科目は、地域社会で生きる多様で複雑な課題を抱えた全国でも著名な当事者や実践者をお招きし、リアルに触れる講話やディスカッションを実施する。相手や自分の価値観に出会い、「誰のために、何のために」これから学び、専門職として働いていくかを考える機会とする。

【学習目標】

1. 専門職としてベースとなる正義や価値観について学びを深める。
2. 新たな価値観と出会い、個人の価値観を更新する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1) 3	オリエンテーション/ 子どもたちの多様な生き方	外部ゲストとして、子どもの貧困の支援者の方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	湯浅誠（特別講師） 大原、荻原
4) 5	依存症とともに生きていくということ	外部ゲストとして、依存症経験者の方をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	上岡陽江（特別講師） 向谷地 大原、荻原
6) 8	認知症になるということ	外部ゲストとして、認知症当事者・認知症を持つ家族や特別養護老人ホームを運営しているの方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	町亞聖（特別講師） 馬場拓也（特別講師） 今井正人（特別講師） 大原、荻原
9) 11	障がいを持つということ	外部ゲストとして、発達障害の当事者・脳性麻痺当事者の方々をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	玉木幸則（特別講師） 広野ゆい（特別講師） 大原、荻原
12) 13	LGBTとして生きるということ	外部ゲストとして、LGBT当事者の方をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	松岡宗嗣（特別講師） 向谷地 大原、荻原
14) 15	癌を患うということ まとめ	外部ゲストとして、癌患者家族をお呼びし、リアルな講話を聴く。講話後には、ゲストの方とのディスカッションを通じ、多様な価値観を養う。	鎌田守（特別講師） 大原、荻原

【評価方法】

講義後に実施するリアクションペーパー（70%） 授業に参加する態度や姿勢、行動力（30%）

【備考】

教科書：ワークブックを使用する。（授業時に配布）

【学習の準備】

福祉のイメージを考えておくこと。

【ディプロマ・ポリシーとの関連】

DP5,4

【実務経験】

大原裕介（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉法人ゆうゆうの理事長としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。